

一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会

## 福岡県地方部会

### 第179回耳鼻咽喉科・頭頸部外科学術講演会

(第539回 九州地方会)

### 平成30年度 日医医学講座

日 時：平成30年12月8日（土） 14：30～18：00（受付 13：30～）

場 所：福岡大学医学部 RI 講義棟3F 大講堂  
福岡市城南区七隈7丁目45番1号

担 当：福岡大学医学部耳鼻咽喉科学教室  
TEL：092-801-1011 内線 3485、3486

- 一般演題 講演時間7分 質疑応答3分 スクリーン1面  
演者の方は、発表する群の開始20分前までに受付を済ませて下さい。  
プレゼンテーションは Windows 版 PowerPoint でご準備願います。  
当日使用するパソコンの OS は Windows10、ソフトは PowerPoint2003, 2007, 2010, 2013に対応しており、画面サイズは XGA (1024×768) です。正常に作動することを事前にご確認下さい。  
PowerPoint のデータ作成には、Windows 標準フォント (MS ゴシック、MS 明朝、Century, Times New Roman) をご使用下さい。それ以外は正しく表示されない場合があります。アニメーションや動画に制限はありませんが PowerPoint に貼付けている動画や音声は Windows Media Player で再生できるように作成してください。
- パソコンの持ち込みはできません。ただし、Mac をご使用される場合や動画や音声を含む場合は、うまく作動しない場合がありますのでご自身の PC にてお願いします。
- 特別講演は日本耳鼻咽喉科学会領域講習（1単位）に認定、および日本医師会生涯教育講座（3単位）に指定されております。受講証明書は講演終了後に受付にてお渡しいたします。講演途中の入退場は認められません。
- 日耳鼻専門医の方は学術集会参加表を受付にご提出下さい。
- 講演会の参加は無料です。懇親会はありません。

## 一般演題

第1群 (14:30~15:20)

座長：千年俊一 (久留米大)

- 1 高度肥満患者に対する気管切開術の1例  
○前原宏基<sup>1)2)</sup>、田畑貴久<sup>1)</sup>、村上一索<sup>1)2)</sup>、宮城司道<sup>1)</sup>、坂田俊文<sup>2)</sup>  
(1. 福岡徳洲会病院耳鼻科 2. 福岡大)
- 2 喉頭音声を温存する新たな誤嚥防止手術 (TED with TEP) の有用性  
○安達一雄<sup>1)2)</sup>、井口貴史<sup>1)</sup>、松原尚子<sup>1)</sup>、喜瀬乗基<sup>1)</sup>、山本陵太<sup>1)</sup>、梅崎俊郎<sup>1)3)</sup>  
(1. 福岡山王病院音声・嚥下センター 2. あだち耳鼻咽喉科  
3. 国際医療福祉大)
- 3 アデノイド切除術と鼓膜チューブ留置術後に細菌性髄膜炎を発症した1症例  
○黒岩大海、永田 圭、三橋亮太、三橋拓之、梅野博仁 (久留米大)
- 4 当科における突発性難聴の臨床的検討  
○速水菜帆、妻鳥敬一郎、黒木圭二、坂田健太郎、宮崎 健、永田里恵、  
濱本 郁、片岡 舞、竹内寅之進、坂田俊文 (福岡大)
- 5 耳鳴の自覚強度と QOL との関係  
○大淵豊明、伊藤有紀、木村拓朗、武永芙美子、高橋 梓、赤池亮太、鈴木秀明  
(産医大)

第2群 (15:25~16:05)

座長：澤津橋基広 (九州大)

- 1 当科で施行した鼻・副鼻腔手術症例における鼻腔形態の検討  
○木村翔一、三橋泰仁、打田義則、杉野赳浩、木庭忠士、大西克樹、末田尚之、  
坂田俊文 (福岡大)
- 2 片側性副鼻腔炎の考察  
○青柳 圭、安井徹郎、瓜生英興、中島寅彦、吉川博政  
(九州医療センター耳鼻咽喉頭頸部外科)
- 3 ESS を施行した菌性上顎洞炎の画像的検討  
○杉野真理子<sup>1)</sup>、山野貴史<sup>1)</sup>、西 総一郎<sup>1)</sup>、橋本憲一郎<sup>2)</sup>、吉住潤子<sup>2)</sup>、  
坂田俊文<sup>3)</sup> (1. 福歯大総合医学講座耳鼻咽喉科分野  
2. 福歯大口腔・顎顔面外科講座口腔腫瘍学分野 3. 福岡大)
- 4 下甲介骨外方骨折を併用した内視鏡下下甲介粘膜レーザー焼灼術症例の検討  
○塩盛輝夫<sup>1)</sup>、上田成久<sup>2)</sup>、竹内頌子<sup>3)</sup>、鈴木秀明<sup>3)</sup>  
(1. しおもりクリニック 2. 北九州総合病院耳鼻咽喉科 3. 産医大)

第3群 (16:10~16:50)

座長：北村拓朗 (産医大)

- 1 当院で施行したアービタックス併用放射線療法の治療成績と有害事象  
○増田智也、若崎高裕、内 龍太郎、田浦政彦、松尾美央子、安松隆治、  
中川尚志 (九州大)
- 2 上顎癌 T4b 症例でセツキシマブによる維持療法で長期生存し得た一症例  
○永田良三郎、松永啓秀、西山和郎、力丸文秀、藤 賢史、檜垣雄一郎、  
益田宗幸 (九州がんセンター頭頸科)
- 3 中心静脈ポート関連合併症と Cetuximab 投与の関係  
○末吉慎太郎、小野剛治、佐藤公宣、栗田 卓、進 武一郎、千年俊一、  
梅野博仁 (久留米大)
- 4 中咽頭癌化学療法後に繰り返す失神発作に対してペースメーカー植え込み術を行った一例  
○長谷川翔一、若杉哲郎、池寄祥司、竹内頌子、大久保淳一、鈴木秀明 (産医大)

\*\*\*\*\* 休 憩 \*\*\*\*\*

**特別講演** (17:00~18:00)

座長：坂田俊文 (福岡大学医学部耳鼻咽喉科学教室)

## 『音の環境と補聴支援テクノロジー』

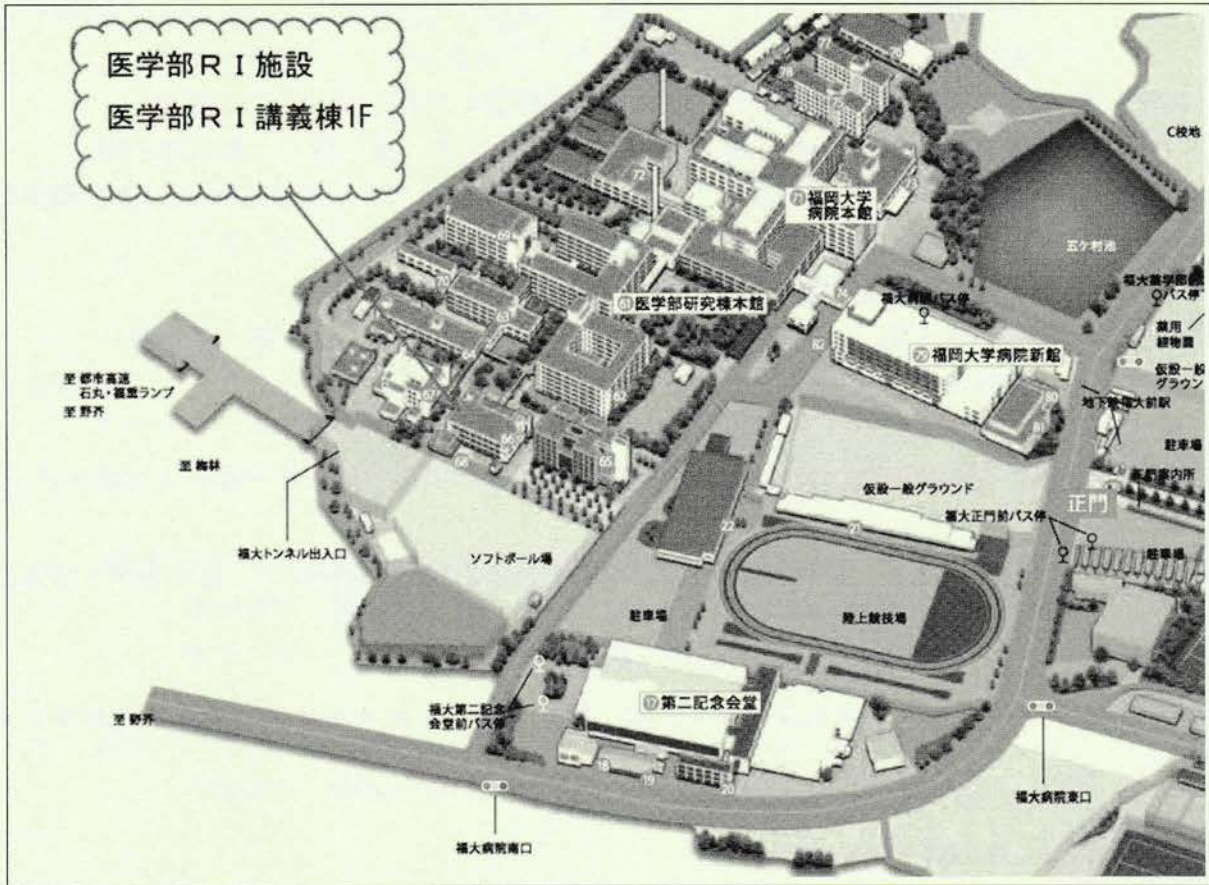
九州大学名誉教授・福岡大学医学部客員教授  
白石 君男 先生

\*本講演は日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科領域講習(1単位)に認定されています。受講証明書は1時間の講演が終了後に受付にてお渡しいたします。講演途中の入退場は認められません。

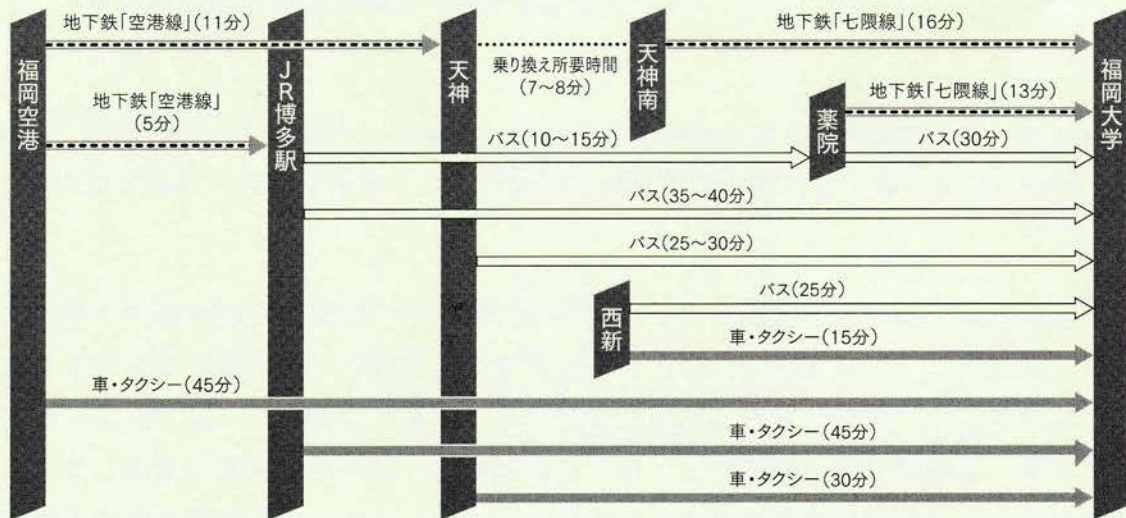
今回の福岡県地方部会・学術講演会では、一般財団法人 曾田豊二記念財団より、若手研究者(満40歳以下)の支援を目的として最優秀演題に対して研究奨励賞が付与される運びとなりました。基礎的分野と臨床的分野から1演題ずつ選出し、閉会直前に発表する予定です。基礎的分野の演題がない場合には臨床的分野から2演題を選出します。投票は各大学から主任教授を含め2名ずつの計8名で行います。主任教授以外の人選は各大学にお任せしますので、当日受付にてお申し出ください。その他、投票方法は当日ご案内致します。

# 《会場案内図》

## ■学内地図



## ■交通アクセス



※カッコは所要時間です。地下鉄を除いて、時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。